

イーストスプリング インド投資マンスリー

2021年6月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&Gの子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

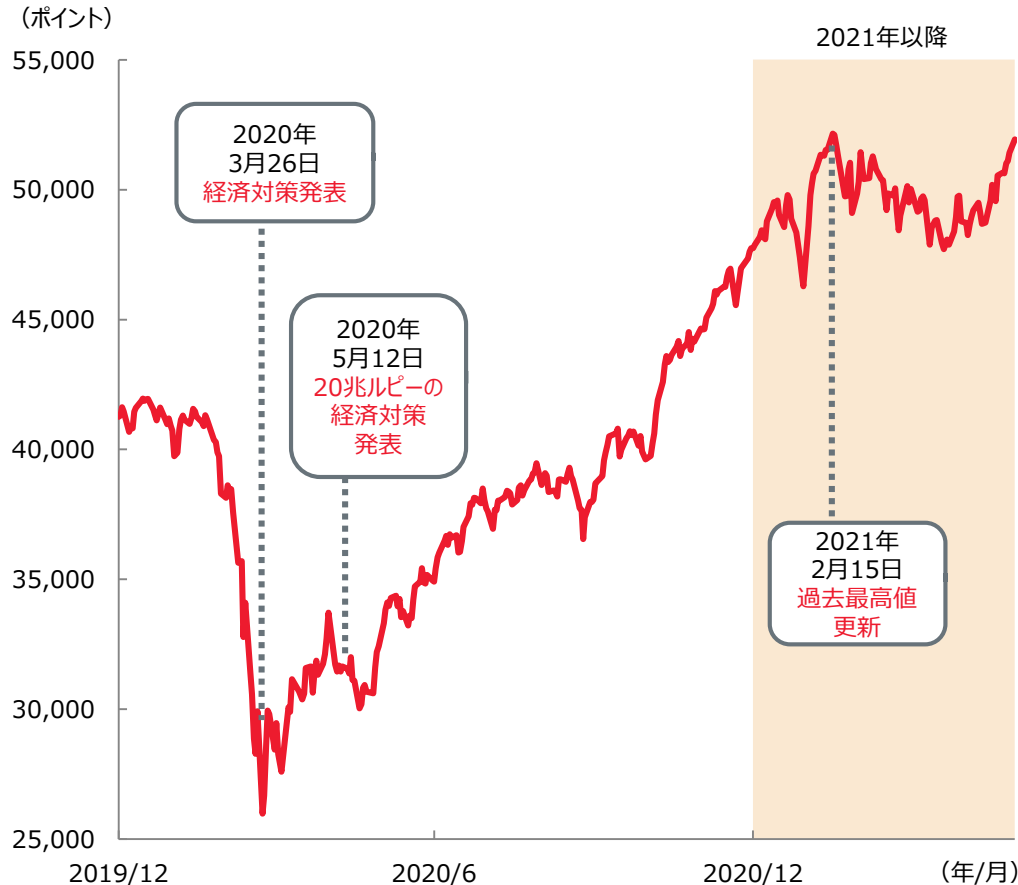
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー
動画配信中！



株式：新型コロナウイルス新規感染者数の減少などを好感し上昇

SENSEX指数の推移 (日次、2019年12月末～2021年5月末)



2021年5月の振り返り

5月のSENSEX指数は反発し、史上最高値に迫りました。前半は新型コロナウイルスの新規感染者数が連日過去最多を更新したことを受け不安定な値動きとなりました。後半に入ると新規感染者数の着実な減少やインド準備銀行（RBI）による救済措置、世界的な株価上昇にけん引され、5月単月で見ると2014年以来の上昇率となりました。RBIが医療インフラを強化するための緊急流動性支援として5,000億インドルピーを供給したことや小規模事業者に対する追加の融資再編策の発表、約1兆ルピーの余剰金を国庫に納付すると述べたことなどが株価の支援材料となりました。3月の鉱工業生産指数などの良好な経済指標の発表も追い風となりました。セクター別では、公益事業と素材がアウトパフォームしました。

1-3月期の実質GDP成長率（前年同期比）は市場予想を上回る+1.6%となり、2四半期連続のプラス成長となりました。

規模別指数の期間別騰落率 (2021年5月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	+6.5%	+5.8%	+17.6%
中型株 (BSE中型株指数)	+7.1%	+8.9%	+28.6%
小型株 (BSE小型株指数)	+8.9%	+17.1%	+39.8%

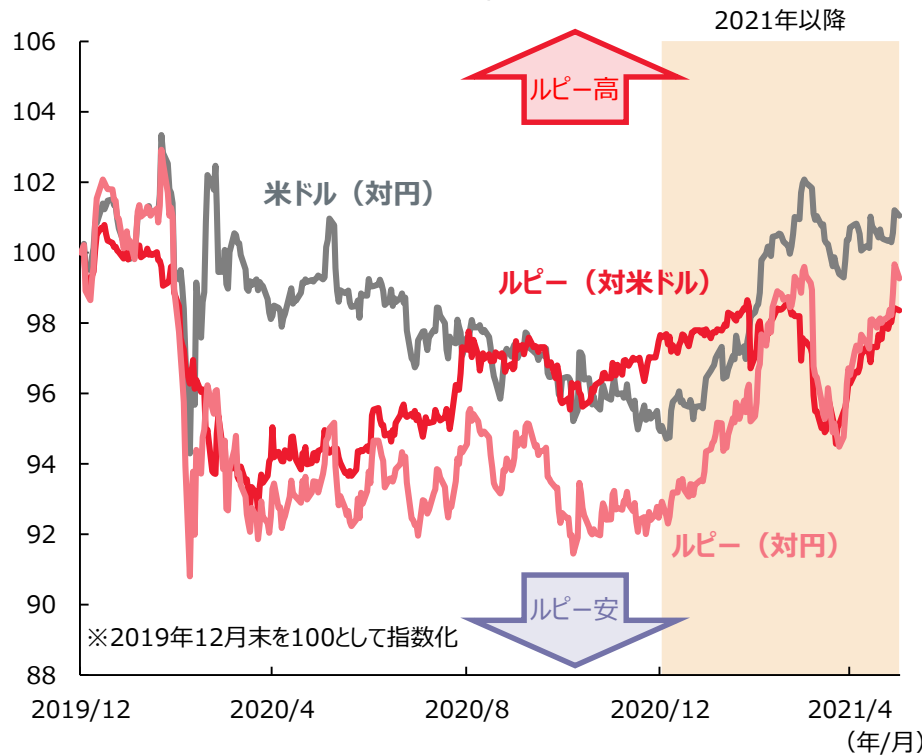
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※すべて配当無し（プライス）、インドルピーベース。

為替：インドルピーは対円、対米ドルとも上昇

- 5月のインドルピーは対円で2.8%の上昇、対米ドルでは2.2%の上昇となりました。
- 外貨準備は5月単月で約83億米ドル増加し、過去最高水準となっています。インド準備銀行は通貨の安定のため外貨準備高を積み増しています。

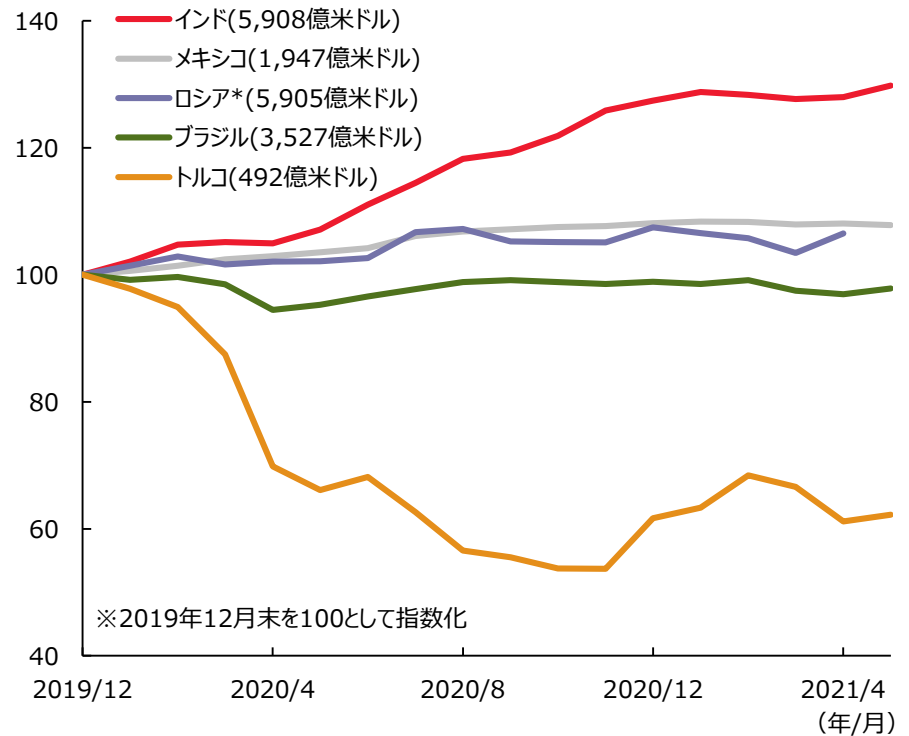
ルピーおよび米ドルの推移

(日次、2019年12月末～2021年5月末)



主要新興国の外貨準備高

(月次、米ドルベース、2019年12月～2021年5月*)



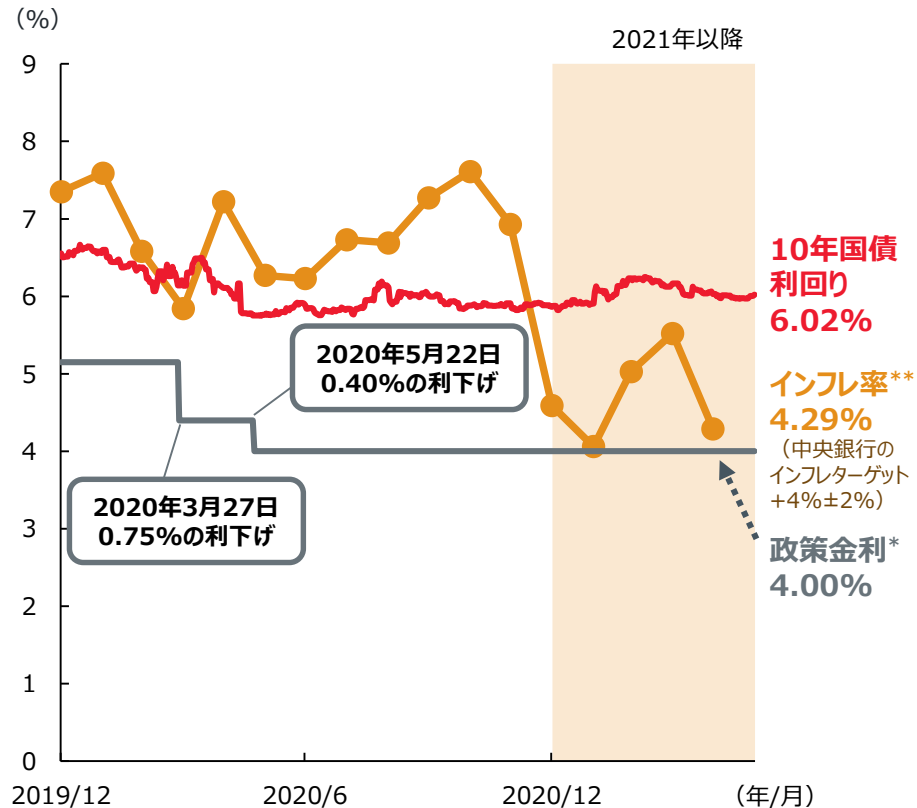
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*ロシアのデータは2021年4月まで。

債券：インフレ率は安定、債券価格は狭いレンジで推移

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(日次**、2019年12月末～2021年5月末)



2021年5月の振り返り

5月の10年国債利回りは前月比横ばいの6.02%に落ち着きました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの第二波を受け、インド準備銀行（RBI）は5日に資金供給の強化を発表し、国債買入プログラム（GSAP）の下で3,500億ルピー相当の国債を20日に買い入れると明らかにしました。この発表を受けて債券価格は上昇しましたが、その後は国債入札後のポジション調整などを背景に上昇幅は限定的となりました。28日に行われた国債入札において、プライマリーディーラーによる落札額が発行予定額に満たなかったことから債券価格は下落しました。また、シタラムン財務相が今年の税収不足を補うために国債増発を示唆したことも重しとなりました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2021年 4月末	2021年 5月末	変化幅
10年国債利回り	6.03%	6.02%	-0.01%
10年社債利回り***	6.78%	6.94%	+0.16%
利回り差	0.75%	0.91%	+0.17%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2021年4月分まで。

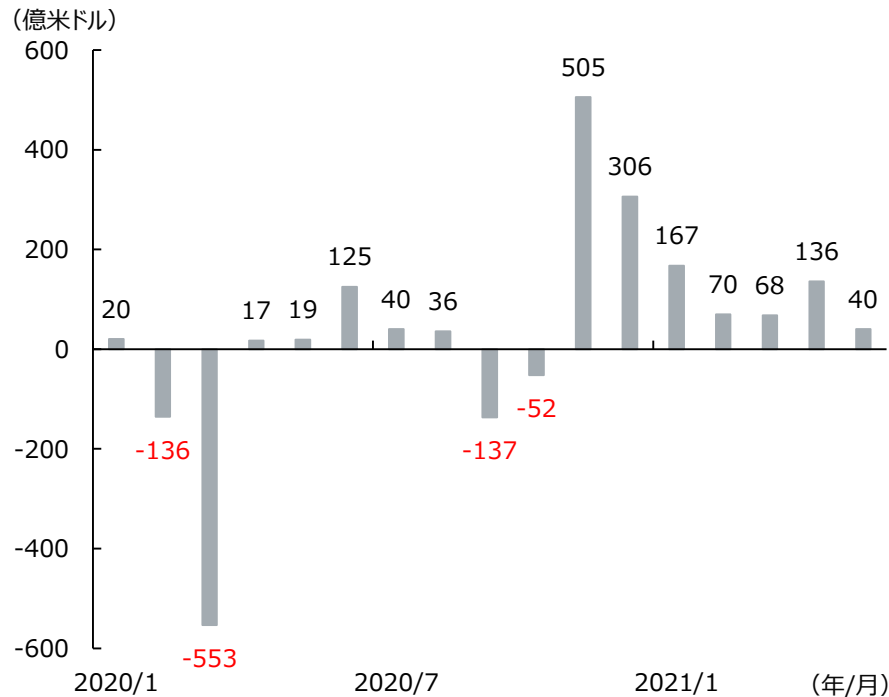
***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

※10年国債は、2020年5月の途中で銘柄が変更されました。

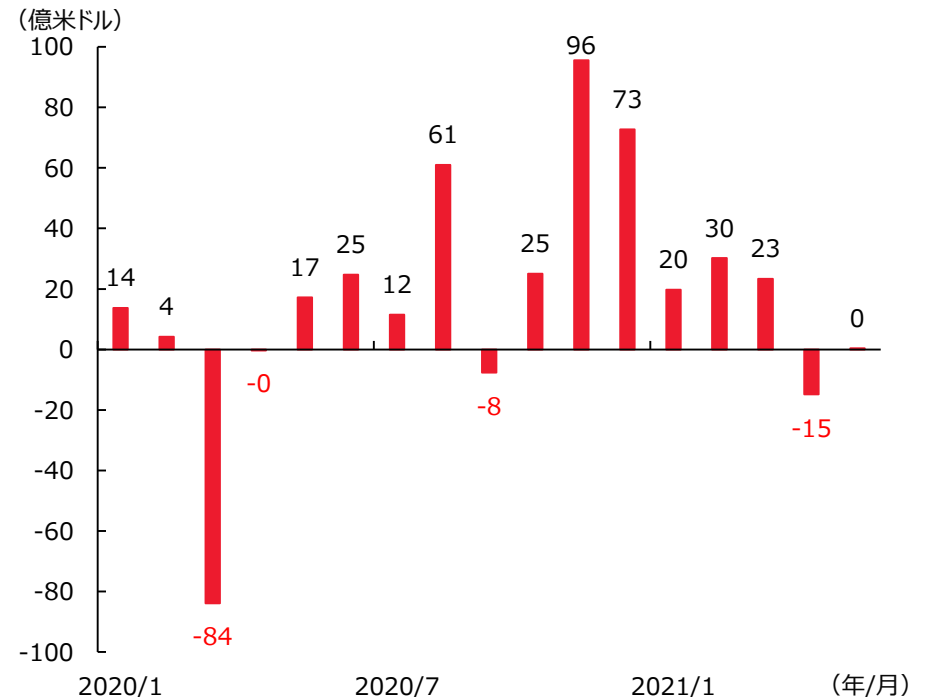
新興国／インド株式市場の外国人投資家からの資金流入の推移

- 新興国株式市場は、世界的なリスクオフ局面で外国人投資家からの資金が流出する傾向があり、昨年の新型コロナウイルスによる世界的な株安局面では単月として過去15年間で最大の553億米ドルが流出（2020年3月）しました。しかし2020年11月以降、資金流入が継続しています。
- インド株式市場の5月の資金流入は、外国人投資家から約0.4億米ドル、国内の機関投資家から約2.8億米ドルのそれぞれ流入となりました。

新興国株式市場への外国人投資家からの資金流入の推移
(月次、2020年1月～2021年5月)



インド株式市場への外国人投資家からの資金流入の推移
(月次、2020年1月～2021年5月)



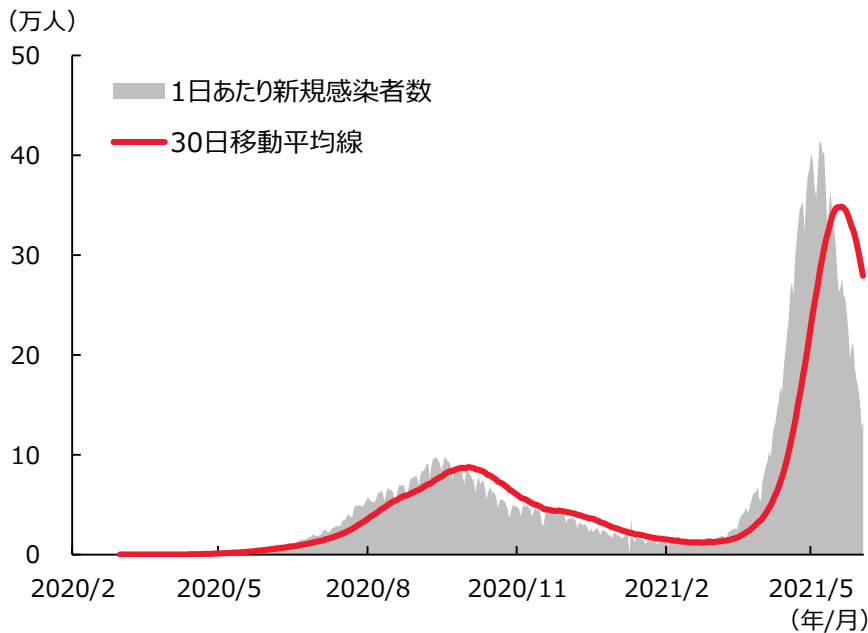
出所：IIF（国際金融協会）、ICICAMのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※2020年6月以降については同協会による推計値。

コロナウイルス新規感染者数はピーク時の半数以下に減少

- インド国内の1日あたり新規感染者数は、5月7日をピークに減少に転じています。
- ワクチン接種は順調に進んでおり、5月末までに人口の17%が1回目の接種を完了しました（2回接種完了は人口の5%）。インド政府は年内に20億回分以上のワクチンを確保するとしており、当社は年内に人口の55%に対して接種が完了すると見込んでいます。
- 5月31日には、首都ニューデリーで4月中旬から6週間続いた外出禁止令が緩和されました。当社は、第二波におけるロックダウン（都市封鎖）は一部の州に限定されていることから、全土におよんだ一回目に比べて経済への影響は限定的とみています。

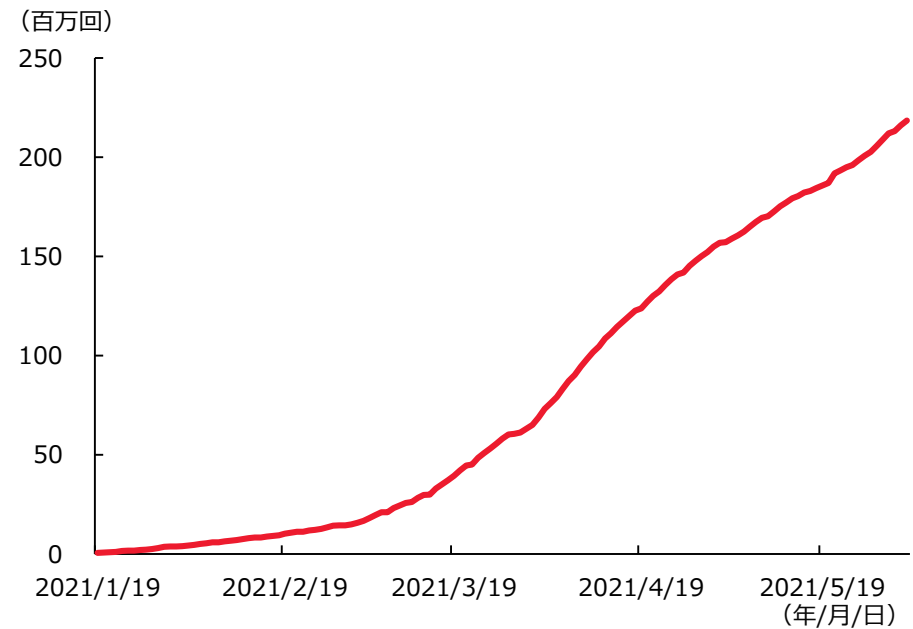
インドの新型コロナウイルス新規感染者数の推移

（日次、2020年2月1日～2021年6月2日）



インドのワクチン累計接種回数の推移

（2021年1月16日～2021年6月2日）



出所：CEIC、ICICIAMのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

【ご参考】雨が占う株価の行方 ～インド経済とモンスーンの関係～

なぜモンスーンの降雨量が注目されるのか

- ▶ インドでは毎年6月から9月頃にかけての雨季のことを『モンスーン』と呼びます。
- ▶ インドの農業は農業用水の多くをモンスーンがもたらす雨に依存しているため、モンスーンの期間の降雨量は農作物の収穫に大きな影響を与えます。また、食料品価格が物価全体に与える影響も大きいため、モンスーンの期間の降雨量予報や実績値は金融市場でも注目されます。

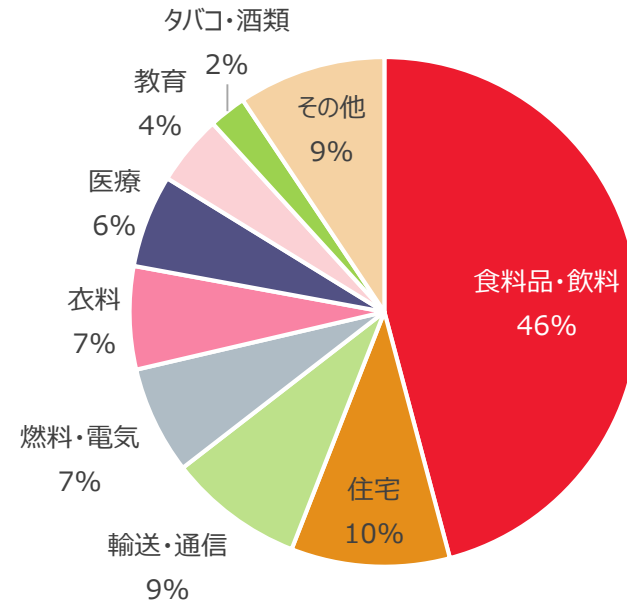
一次予報、二次予報ともに平年並みの予報

- ▶ 6月1日、インド気象局（IMD）は6-9月におけるモンスーン（雨季）の降雨量の二次予報を発表しました。4月発表の一次予報と同様、“平年並み”（1961-2010年の過去50年間の長期平均に対して101%）との予測でした。6月最終週に発表予定の7月の降雨量予測にも注目が集まります。
- ▶ 食料品はインフレ率の指標となる消費者物価指数（CPI）の構成要素の5割弱を占め、野菜価格等の高騰はインフレ率の上昇を誘引します。
- ▶ インフレ率が安定して推移すれば、政策金利の引き上げ圧力は高まりにくい状況といえ、このことは、株価にとって下支え要因になります。



(写真：Shutterstock)

インドのCPI構成比（2012年基準）



出所: Bloomberg.L.P.のデータを基にイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会